

都市再生整備計画

あまのいわと
天岩戸地区(2期)

宮崎県 たかちほ
高千穂町

令和2年9月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	宮崎県	市町村名	高千穂町	地区名	天岩戸地区(2期)	面積	1,150 ha
計画期間	令和 3 年度 ～ 令和 4 年度		交付期間	令和 3 年度 ～ 令和 4 年度			

目標

- 大目標: 神都高千穂の活性化をサポートする天岩戸の顔づくり
 目標1: 天岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり
 目標2: 天岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまちづくり
 目標3: 天岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- まちづくりの経緯
 - ・天岩戸地区では天岩戸まちづくりの会が組織され、地元商店会や公民館と共に天岩戸の賑わいづくりを目指して、地域の魅力の発信、天岩戸地区内の観光ルートマップ作成、天岩戸神社の参道となる門前通りにおける季節に応じた飾り付けなど様々な活動を展開している。
 - ・平成16年12月に地域住民が主体となり地域の中心部である天岩戸神社参道周辺の商店街における街並み観察(タウンウォッチング)を含むワークショップを開催し、「天岩戸のまちの風景をつくる私たちの暮らし」をテーマとした参道の街並みのあり方について提案を行っている。
 - ・旧高千穂鉄道を利用した観光活性化を図るため、旧高千穂駅から旧天岩戸駅区間においてスーパーカート(トロック列車)の運行が行われている。
 - ・平成28年11月に天岩戸地区のまちづくりや活性化に取り組む団体の地元関係者が中心となり天岩戸地区まちづくり協議会が発足し、まちづくりに関して活発に意見を交わし、ワークショップやイベント等を企画している。
 - ・都市再生整備計画天岩戸地区(平成28年度～令和2年度)(以降、「第1期計画」と表記)では、東本宮の南駐車場整備、門前通りの交流施設整備、遊歩道の高質化等の事業を実施してきた。
- まちの現況
 - ・高千穂町には宮崎県で最も多い年間約140万人もの観光客が訪れているが、宿泊客数は総観光客数のその約1割にとどまっており、典型的な通過型の観光地となっている。
 - ・高千穂町の代表的観光スポットである天岩戸神社が立地し、春季及び秋季大祭時や観光オンシーズン時には多くの観光客が訪れている。
 - ・しかし令和2年には、新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言の発令に起因した、外出自粛要請や県境をまたぐ移動の自粛要請の影響を受け、観光客が減少し高千穂町の主要産業である観光業の早期回復が求められている。
 - ・天岩戸地区へのアクセスは自家用車が主体であり、大祭開催時においては多くの自動車が地区内に流入し、駐車場のキャパシティが必要に追いついていない状況にあり、これが要因となって地区内道路において渋滞も発生している。
 - ・天岩戸神社は春季・秋季大祭時においては多くの観光客が訪れるものの、これ以外の時期においては観光客の来訪が比較的少なく、年間を通じた賑わいに欠けている。
 - ・天岩戸神社の参道を形成する門前通りは天岩戸地区の商業拠点として位置づけられ、町が進めてきた門前通りの舗装高質化や交流施設整備などの事業により、徐々に周辺の町並みを含めた参道としての雰囲気 が形成されつつあるものの、未だ人通りは少ない状況にある。

課題

- ①神都高千穂を象徴する歴史・文化資源である天岩戸神社の活用や滞在時間の延長によるまちの活性化に向け、神々の郷としての雰囲気づくり、訪れる人の利便性を高めるサービスの提供・滞在時間の延長を図る必要がある。
- ②天岩戸地区内に多く存在する歴史・文化資源を生かし地区内全体を周遊して楽しめるように、各名所間の案内・誘導機能の強化によりアクセス性や回遊性、一体的な観光地としての利便性の向上が必要である。
- ③天岩戸神社を訪れる多くの観光客を門前通りに誘導し天岩戸地区の商業拠点として、まちの賑わいを演出するため、周辺にある溪谷沿いの神秘的な自然景観を楽しむための基盤整備や憩いの場の創出といった仕掛けづくりが必要である。

将来ビジョン(中長期)

■第5次高千穂町総合長期計画

- まちの将来像: 「この町に生まれてよかった」「この町に住んで良かった」と実感できる理想の町づくり
- まちづくりの施策
 - 【魅力ある観光地づくり】 → リピーターや滞在客などを増やすメニューづくりなどの施策について町観光協会と協議しながら、観光行政を積極的に行う。
 - 【まちづくり】 → 自分達の生活スタイルを大事にすることが、元気の源であり、環境や景観がこれから先も大切な地域の財産であることを基本にまちづくりに取り組む。
 - 【商業の振興】 → 農業や商工業、観光業の連携を強化して商店街の活性化に努める。
- 阿蘇くじゅう観光圏整備計画
 - コンセプト: “阿蘇カルデラ”～命きらめく草原の王冠～
 - 観光圏整備のイメージ: 住む人が心から誇りをもてる「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりで、日本を代表する世界レベルの滞在型観光地を目指す。
 - 高千穂町の位置づけ: 全国的に有名な「高千穂の夜神楽」や「高千穂峽」があり、宿泊施設も充実していることから、「高千穂郷滞在促進地区」としての位置付けにある。
 - 高千穂郷における取り組み方針: 「神々の足跡をたどる建国の道の整備」として、観光資源の調査と周遊環境の整備を行い、案内機能の充実を図り、周辺住民と連携した滞在化を推進するものとしている。
- 高千穂町観光マスタープラン
 - 基本テーマ: 日本発祥の地「神都 高千穂」計画
 - プランの方策
 - 【高千穂のブランド化】 → 「日本発祥の地 高千穂」のブランド化にむけた機運醸成、地域資源を活かした魅力ある観光地づくり
 - 【観光地としての基盤整備】 → 観光施設の整備(サイン、高千穂鉄橋の整備、まちなか観光の推進等)、宿泊施設の整備及びサービス向上、観光客の利便性の向上(旅行環境、交通アクセス)、広域連携の推進(阿蘇くじゅう観光圏等)
 - 【新たな観光(ニューツーリズム)の創出】 → 「神都 高千穂」観光プログラムの開発
 - 【国際観光の推進】 → 外国人観光客の受け入れ体制・環境の確立、魅力の効果的な発信
 - 【広報・宣伝】 → メディア戦略、営業、キャンペーン

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	基準年度	目 標 値	目 標 年 度
高千穂町入込観光客数	千人/年	高千穂町を訪れる年間入込観光客数	入込観光客数の増加が、目標に掲げる「歴史・文化資源を活用する魅力あふれるまち」としての機能向上の度合いを示す。		616	令和2年	968	令和4年
宿泊観光客数	千人/年	高千穂町に宿泊する年間観光客数	宿泊観光客数の増加が、目標に掲げる「回遊性・利便性の向上による快適に過ごせるまち」としての機能向上の度合いを示す。		72	令和2年	122	令和4年
観光客消費額	億円/年	高千穂町を訪れる観光客の年間総消費額	観光客消費額の増加が、目標に掲げる「商業・観光の活性化による活気あるまち」としての機能向上の度合いを示す。		24	令和2年	48	令和4年

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
●天岩戸固有の歴史・文化資源を活用・伝承する魅力あふれるまちづくり ・天岩戸固有の観光資源、歴史・文化(天岩戸神社、天安河原、神楽など)の情報発信機能と住民や観光客の交流・体験・集い機能が集積した交流拠点として、案内板・説明板の設置や映像資料の上映など、交流施設の活用を図る。 ・天岩戸固有の観光資源、歴史・文化の魅力の発信、資源間の回遊性を高めるための、案内・誘導機能の強化を図る。 ・神々の郷としての雰囲気づくりを図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社や天安河原、岩戸川沿い等の周辺環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める周辺住民と連携した滞在型観光地を目指すために、地域住民だからこそ知っている歴史や地域に残る歴史・文化を生かした資料作成を通じて、周辺住民のまちづくりへの積極的な参画を図る。 ●天岩戸を訪れる人の回遊性・利便性の向上による快適なまちづくり ・神都高千穂に相応しい雰囲気づくりや通りの回遊性、全ての人が利用しやすい環境を高めるため、安全・快適な歩行者空間や憩い・休息空間の形成を図る。 ・観光客の利便性向上やまち中への誘導効果を高めるため、トイレ機能や観光案内などの誘導機能の強化を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社や天安河原、岩戸川沿い等の周辺環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 ●天岩戸の誇りを伝えられる商業・観光の活性化による活気あるまちづくり ・門前通りの賑わい性を高めるため、空き店舗を活用した取り組みの展開を図る。 ・住民が主体となって、まちの活性化方策やまちづくりの進め方を検討する場の提供を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める観光資源の周遊環境の整備による滞在型観光地を目指すために、観光資源が集積する天岩戸神社及び天安河原周辺の環境整備を行い、既存の観光資源をさらに活かすことで、観光客の滞在時間の延長を図る。 ・阿蘇くじゅう観光圏整備計画に定める周辺住民と連携した滞在型観光地を目指すために、住民参加による憩いのベンチ整備、空き店舗を活用したチャレンジショップ開店支援、既存店舗改修支援等を実施する。 ・既存店舗の街並み景観を神々の郷としての雰囲気作りに取り組み、商業の活性化に展開を図る。		●基幹事業 【地域生活基盤施設】:案内板整備事業 ●提案事業 【地域創造支援事業】映像資料作成事業(アーカイブ・史跡説明映像)、神話スポットデザイン創出事業、ビューポイントデザイン創出事業 【まちづくり活動推進事業】憩いのベンチ整備事業(住民参加)
		●基幹事業 【地域生活基盤施設】:案内板整備事業 【高質空間形成施設】:東本宮南駐車場トイレ整備事業、岩戸川沿い遊歩道改修事業、歩道橋空間創出事業 ●提案事業 【まちづくり活動推進事業】憩いのベンチ整備事業(住民参加)
		●提案事業 【地域創造支援事業】:チャレンジショップ開店支援事業、既存店舗改修支援事業 【まちづくり活動推進事業】:憩いのベンチ整備事業(住民参加)
その他		

様式(1)-④-2

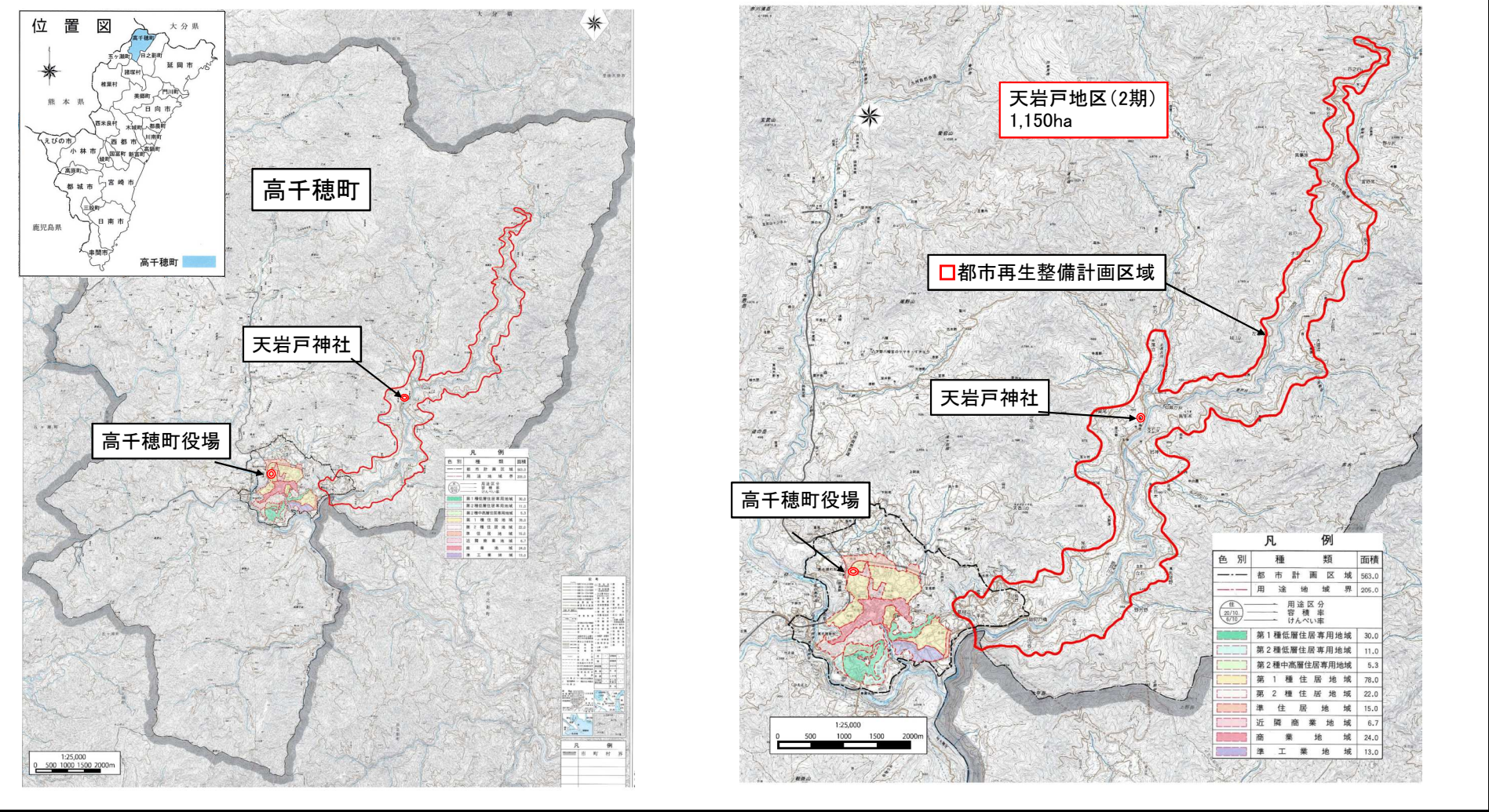
(金額の単位は百万円)

...A

B[illegible]

天岩戸地区(宮崎県高千穂町)	面積	1,150 ha	区域	大字岩戸、上岩戸の一部
----------------	----	----------	----	-------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



あまのいわと たかちほちょう
天岩戸地区(2期)(宮崎県高千穂町) 整備方針概要図

目標	神都高千穂の活性化をサポートする天岩戸の顔づくり	代表的な指標	高千穂町入込観光客数(千人/年)	616	(令和2年度) →	968	(令和4年度)
			宿泊観光客数(千人/年)	72	(令和2年度) →	122	(令和4年度)
			観光客消費額(億円/年)	24	(令和2年度) →	48	(令和4年度)

